

学会等受賞論文の概要

受賞者	住宅研究部住環境計画研究室 室長 長谷川洋
研究論文名	長期優良住宅（共同住宅）における住戸区画の可変性の評価手法の提案
授与機関	公益社団法人都市住宅学会
受賞時期	平成 25 年 5 月（25 日）
受賞内容	論文賞
論文の概要	<p>ストック重視の住宅政策への本格的な転換が求められているなかで、共同住宅を長期に社会的資産として活用していくためには、居住者のライフステージや住宅の立地する市場の需給構造の変化等への対応を容易とする「住戸空間の可変性」が重要になると考えられる。</p> <p>このため本論文は、平成 21 年 6 月に制度化された長期優良住宅制度の認定基準のさらなる整備に向けて、住戸区画の可変性を評価するために「スケルトン空間」という概念を提示し、スケルトン空間の躯体天井高さ、面積、間口等の視点から住戸区画の可変性のレベルの違いが持つ意味合いやその技術的根拠を整理しつつ、評価基準を体系的に提案した。</p> <p>また、住戸区画の高い可変性を担保するための設計上又は建築関連法規上の配慮事項を整理するとともに、マンションにおいて住戸区画の変更を実施するうえでの区分所有法や登記法上の手続きの考え方を提案した。</p>